

会場に展示された海女の写真を紹介する李さん



読売新聞(三重) 2015年5月22日

表情生き生き 海女写真展

伊勢志摩地方の写真を撮り続いている中国人ホテルマン李相海さん(44)(鳥羽市安楽島町)の写真展「海女礼賛」が、鳥羽市大明西町の鳥羽ショッピングプラザ「ハロー」で開かれている。

李さんは鳥羽シーサイドホテル(同市)に入社した翌年の2008年、海女の存在を知り、海女の祭りや生活などの撮影を始めた。

写真展には伊勢志摩地方の海女や、国内最北となる岩手県久慈市の海女、今年3月に訪れた韓国・済州島の

海女など、10年から今春にかけて撮りためた計30点を展示。作品からは海女たちの生き生きとした表情や息吹が伝わってくる。

3月に写真入りエッセイ集「現代の海女 伊勢志摩の海女に魅せられて」(青山山ライフ出版)を出版した李さんは、「海女文化を守ることは、海と自然や人の将来を守ることにつながる。写真展を見て、多くの人が海女に関心を持つてもらえれば」と話している。

26日まで。入場無料。